

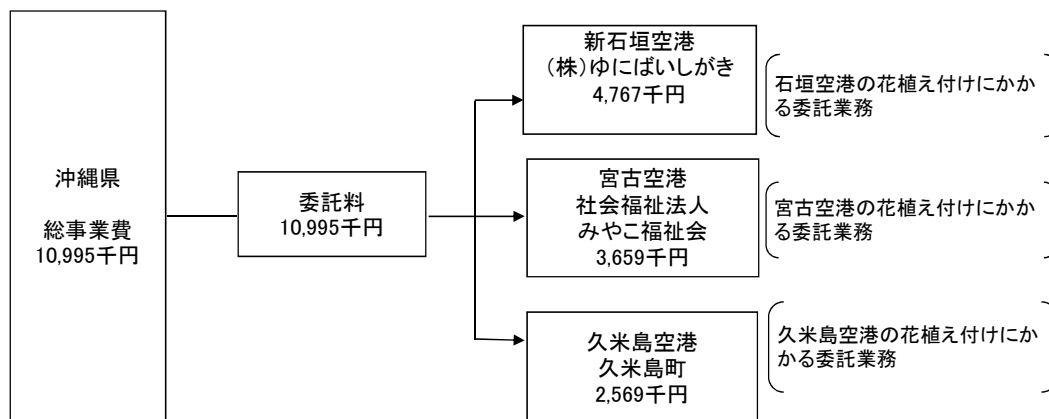
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	202	離島空港ちゅらゲートウェイ事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-ア		
				国際交流・物流拠点の核となる 空港の整備			
担当部課名	土木建築部 空港課	事業実施 (予定)年度	平成 25 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-11-(2)		
事業内容	離島の玄関口である空港を花で彩ることにより、離島観光のブランドイメージを高めるための経費						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】			24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	-	-	11,000		
		(b) 予算現額	-	-	11,000		
		(c) 増減額 (b-a)	-	-	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計 (b+d)	-	-	11,000		
	B. 執行済額		-	-	10,995		
	うち交付金充当額		-	-	8,796		
	C. 次年度繰越額		-	-	0		
	執行率 (%) (B/A)		-	-	100.0%		
予算の状況の説明		執行率は約100%で執行済み。不用額は執行残額の4,400円のみ。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	飾花空港数:3空港	目標	-	飾花空港数:3空港			
		実績	-	飾花空港数:3空港			
		目標					
		実績					
達成状況説明	新石垣空港他2空港において、ターミナル及び周辺へのプランター設置や植栽樹への植え付けで飾花を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (一年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (一年度)
	旅客数の多い離島空港を年間を通して花で彩る ・新石垣空港 ・宮古空港 ・久米島空港	目標	-	-	旅客数の多い離島空港を年間を通して花で彩る		-
		実績	-	-	旅客数の多い離島空港を年間を通して花で彩った		-
	【参考指標】 離島空港の年間旅客者数	目標					
		実績	313万人 (22年)	383万人 (25年)			426万人 (33年)
	進捗状況説明	飾花により離島のイメージを高めることができた。また、新石垣空港では、ターミナルビル前面にプランターを設置したことで、空港銘板周辺が観光客の記念撮影箇所として利用されている。 沖縄21世紀ビジョン実施計画p152では、平成33年度までに離島空港の年間旅客者数を313万人から426万人に増加することを目標にしており、本事業は空港利用者数の増加に寄与している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・観光プロモーション等により、沖縄県の離島の認知度が高まっていることから、当事業を継続し、離島の玄関口となる空港のイメージアップを図っていきたい。</p>	<p>・当事業は、花の植え付け業務を障害者就労支援事業所に委託するものであるが、平成25年度は事業開始年度でノウハウが無く、委託先の選定に時間を要し発注が遅れたため、今後は年間を通して飾花できるよう早期に発注する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・年間を通して飾花できるよう、早期の業務発注に努める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
10,995	10,995	8,796	2,199	0	0	0



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>(新石垣空港、宮古空港)市内において、就労継続支援事業(A型)・雇用型の事業所で、農産物の生産販売を主体として行っている唯一の事業者と、地方自治法施行令第167条の2第1項3号の規定により随意契約している。</p> <p>(久米島空港)町内において、久米島町以外にビニールハウス等の設備を完備し、草花栽培の実績があり、障害者への指導ができる者はいないため、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定により、随意契約している。</p> <p>以上から、事業を実施した3空港とも委託先を適切に選定し、事業内容並びに目的に見合った規模で適正に執行された。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

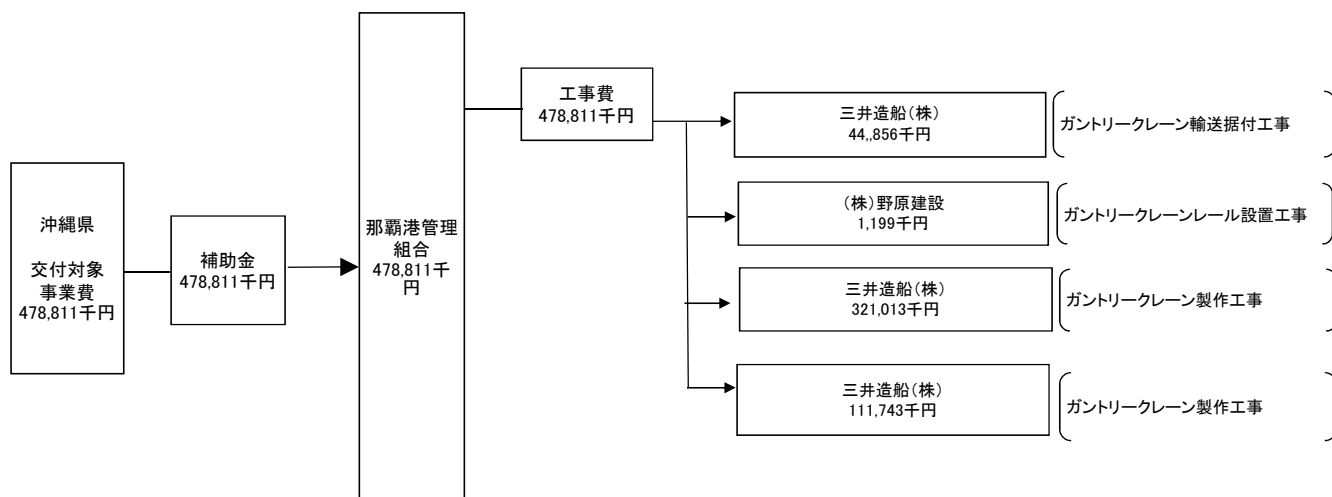
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	196	那覇港物流機能等強化事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ			
担当部課名	土木建築部	港湾課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	人流・物流を支える港湾の整備 Ⅲ-1-(3)	
事業内容	産業振興の基盤である那覇港の機能強化と臨港型産業の育成に繋げるため、コンテナの取扱能力を増大し、サービス水準の大幅な向上となるガントリークレーンの増設を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	335,733	—	616,500		
		(b) 予算現額	335,733	—	736,500		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	120,000		
		(d) 繰越額	—	236,957	—		
	A. 計 (b+d)		335,733	236,957	736,500		
	B. 執行済額		98,776	228,069	478,811		
	うち交付金充当額		79,021	0	383,048		
	C. 次年度繰越額		236,957	—	257,689		
	執行率 (%) (B/A)		29.4%	96.2%	65.0%		
予算の状況の説明		ガントリークレーン4号機について、当初3号機同様の仕様での発注、入札を進めていた中、那覇空港滑走路増設に伴う、航空法に基づく制限表面高さ変更の予定告示が出た。このため、抑えられていた高さが緩和することで、工事費が低く抑えられる可能性が生じたことから、工事設計額見直しの検討や入札のやり直しに時間を要したため、繰越となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	那覇港のガントリークレーン 3号機製作 1基、4号機製作工事着手	目標	—	3号機製作 1基、4号機製作工事着手			
		実績	—	3号機製作完了、4号機製作工事着手			
		目標					
		実績					
達成状況説明	活動目標どおり、3号機製作工事の完了及び4号機製作工事を着手することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	コンテナ取扱能力増大等に向けた港湾機能強化 ガントリークレーン 3号機製作完了、4号機製作工事着手	目標	—	—	3号機製作完了、4号機製作工事着手		—
		実績	—	—	3号機製作完了、4号機製作工事着手		—
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P154 那覇港の取扱貨物量		目標	1,004万トン (23年)	1,950万トン (28年)	2,840万トン (33年)	
	進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標どおり、3号機製作工事の完了及び4号機製作工事を着手することができた。 ・ガントリークレーン製作は順調に目標を達成してきており、施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P154那覇港の取扱貨物量)において、貨物量増加に係る整備を実施しており、目標達成に寄与するものである。 				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>ガントリークレーン整備の執行について、航空法に基づく制限表面高さ変更の関係による工事設計額見直しの検討や入札のやり直しにより、当初予定していた工期より長くなった。</p>	<p>今後工程に遅れが生じることがないように、関係機関との調整や工程会議等を密に行う必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>引き続き、関係機関との調整や工程会議等を密に行い、また、作業状況、現場状況等の把握に努めながら、ガントリークレーンの整備を早期に行い、国際流通港湾としての機能充実を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
478,811	478,811	383,049	95,762	0	0.00	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・負担割合について、「那覇港管理組合の設立に関する覚書」にて沖縄県6、那覇市3、浦添市1となっており、妥当であったと考えている。</p> <p>・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	197	那覇港における人流・物流拠点港湾整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ		
担当部課名	土木建築部 港湾課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 25 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人流・物流を支える港湾の整備		
事業内容	沖縄県の観光振興に寄与するため、観光客を迎えるに相応しい旅客ターミナルビルとクルーズ船とを直結するボーディングブリッジを整備し、クルーズ船寄港回数の増加を図り、観光客のさらなる増加を目指すとともに、那覇港(新港ふ頭地区)における港湾物流機能を改善し、県全体の物流の効率化に資する那覇港総合物流センターの建設に向けた取り組みを行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	225,274	—	84,000		
		(b) 予算現額	225,274	—	114,000		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	30,000		
		(d) 繰越額	—	135,200	—		
		A. 計 (b+d)	225,274	135,200	114,000		
	B. 執行済額		90,074	135,200	41,307		
		うち交付金充当額	72,059	108,160	33,045		
		C. 次年度繰越額	135,200	—	72,693		
	執行率 (%) (B/A)	40.0%	100.0%	36.2%			
予算の状況の説明	・那覇港観光客利便性向上施設整備事業:ボーディングブリッジの施設仕様・設計を終え、8月より工事着手する計画としていたが、クルーズ船寄港予約船舶が、多様化、大型船舶の寄港回数が増加することにより、それらに対応するために施設仕様・設計を見直したことから、想定以上の日数を要した結果、工事スケジュールに遅れが生じることとなったため、繰越となった。 ・那覇港総合物流センター整備事業:物流センター基本設計業務については、建物仕様決定の重要な要素となる、企業アンケートや企業ヒアリングを行っているが、アンケートの取りまとめに時間を要したため、繰越となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)	達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	那覇港のボーディングブリッジ設置 1基	目標	—	ボーディングブリッジ設置 1基			
		実績	—	ボーディングブリッジ製作工事着手			
	総合物流センター基本設計の実施	目標	—	基本設計の実施			
実績		—	基本設計の着手				
達成状況説明	・那覇港観光客利便性向上施設整備事業:ボーディングブリッジについて、クルーズ船寄港予約船舶が、多様化、大型船舶の寄港回数が増加することにより、それらに対応するために施設仕様・設計を見直したことから、想定以上の日数を要した結果、工事スケジュールに遅れが生じることとなったため、設置工事を完了する事ができなかった。 ・那覇港総合物流センター整備事業:総合物流センター基本設計業務を着手したが、建物仕様決定の重要な要素となるアンケートの取りまとめに時間を要したため、基本設計を完了する事ができなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・クルーズ観光客の安全性・利便性の確保に向けた施設の強化(ボーディングブリッジ設置 1基)	目標	—	—	ボーディングブリッジ設置 1基		—
		実績	—	—	ボーディングブリッジ製作工事着手		—
	・総合物流センターの基本設計業務の完了	目標	—	—	基本設計業務の完了		—
		実績	—	—	基本設計の着手		—
	【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P154 那覇港の取扱貨物量	目標	1,004万トン(23年)	1,950万トン(28年)	2,840万トン(33年)		
		実績					
【参考指標】 沖縄21世紀ビジョン実施計画P154 那覇港におけるクルーズ船寄港回数	目標	53回(23年)	80回(28年)	120回(33年)			
	実績						
進捗状況説明	・那覇港観光客利便性向上施設整備事業:ボーディングブリッジについて、クルーズ船寄港予約船舶が、多様化、大型船舶の寄港回数が増加することにより、それらに対応するために施設仕様・設計を見直したことから、想定以上の日数を要した結果、工事スケジュールに遅れが生じることとなったため、設置工事を完了する事ができなかった。施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P154那覇港におけるクルーズ船寄港回数)において、寄港回数増加に係る整備であるため、早期整備が必要である。 ・那覇港総合物流センター整備事業:総合物流センター基本設計業務を着手したが、建物仕様決定の重要な要素となるアンケートの取りまとめに時間を要したため、基本設計を完了する事ができなかった。施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P154那覇港の取扱貨物量)において、貨物量増加に係る整備であるため、早期の業務完了が必要である。						

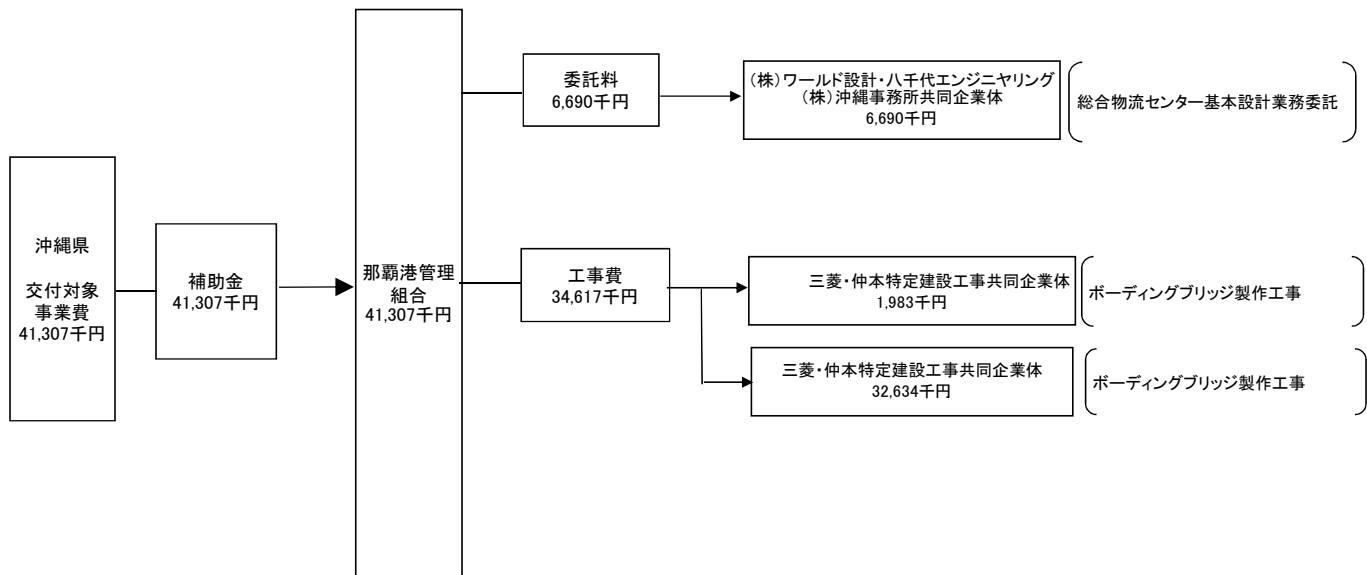
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 那覇港観光客利便性向上施設整備事業 多様な船舶に対応するため、施設仕様・設計を見直したことから、当初予定していた工期より長くなった。 那覇港総合物流センター整備事業 建物仕様の重要な要素となるアンケートの取りまとめに時間を要したため、当初予定していた履行期間より長くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 那覇港観光客利便性向上施設整備事業 今後の工程に遅れが生じることがないように、関係機関との調整や工程会議等を密に行う必要がある。 那覇港総合物流センター整備事業 今後の業務に遅れが生じることがないように、関係機関との調整や業務調整等を密に行う必要がある。

今後の取り組み方針

・那覇港観光客利便性向上施設整備事業
 引き続き、関係機関との調整や業務調整等を密に行い、また、作業状況、現場状況等の把握に努めながら、ボーディングブリッジの整備を早期に行い、観光客が安全で快適に移動できるなどの利便性の向上を図る。
 ・那覇港総合物流センター整備事業
 県全体の物流効率化に資する那覇港総合物流センターの早期整備に向け、引き続き、関係機関との調整や業務調整等を密に行っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
41,307	41,307	33,046	8,261	0	0	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 負担割合について、「那覇港管理組合の設立に関する覚書」にて沖縄県6、那覇市3、浦添市1となっており、妥当であったと考えている。 費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

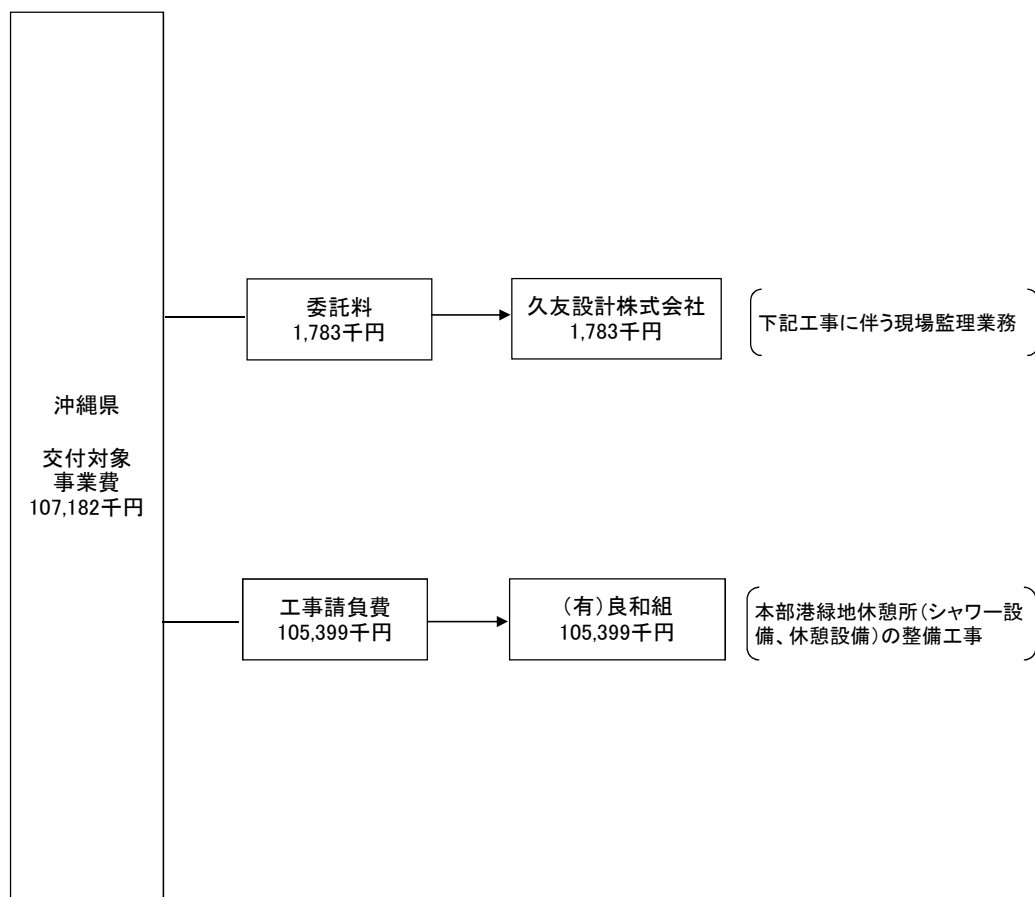
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	198	港湾関連施設利便性向上整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ		
担当部署名	土木建築部 港湾課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 25 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人流・物流を支える港湾の整備		
事業内容	ダイビング等観光利用が進む離島航路の安全・安心、利便性確保を図るため、シャワー設備等の利便施設の整備を行う。 平成25年度は、利便施設の整備を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（工事請負）						
予算額・執行額【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	43,000	—	140,000		
		(b) 予算現額	43,000	—	140,000		
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0		
		(d) 繰越額	—	31,000	—		
	A. 計 (b+d)		43,000	31,000	140,000		
	B. 執行済額		11,926	8,518	107,182		
	うち交付金充当額		9,541	6,814	85,746		
	C. 次年度繰越額		31,000	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		27.7%	27.5%	76.6%		
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・工事は25年度において完了した。 ・執行率は、契約差金等により約77%になった。 					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	H25 利便施設整備工事の完了	目標	設計業務の完了	整備工事の完了			
		実績	設計業務の完了	整備工事の完了			
	H24 利便施設の実施設計の完了	目標	実施設計業務の完了				
		実績	実施設計業務の完了				
	H24 浮桟橋の実施設計の完了	目標	実施設計業務、改良工事の完了				
実績		実施設計業務の完了					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・設計業務は、24年度において完了した。 ・25年度は、24年度に実施した設計業務の成果をもとに利便施設整備工事を進めた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(25年度)
	H25 港湾施設利用者の利便性向上に向けた施設の完成	目標	—	整備工事の完了	整備工事の完了		整備工事の完了
		実績	—	整備工事の完了	整備工事の完了		整備工事の完了
	H24 利便施設の実施設計の完了	目標	—	実施設計業務の完了			
		実績	—	実施設計業務の完了			
	H24 浮桟橋の実施設計の完了	目標	—	実施設計業務、改良工事の完了			
		実績	—	実施設計業務の完了			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・設計業務は、24年度において完了した。 ・利便施設整備工事は、25年度に完了した。 ・平成26年度に施設の供用開始を行い、施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P153人流・物流を支える港湾の整備)に関連し、港湾利用者の快適性、利便性向上に寄与することが期待できる。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・利便施設の設計が予定どおり24年度で完了したことで、25年度の整備工事を円滑に進め、年度内に工事を完了することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業当初の段階で予定どおり作業工程が進捗したことで、事業後半は予定期間で工事を終えることができたことから、目標達成に向け、初期段階から進捗管理を十分行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も同様な事業を行う場合においても、円滑な事業進捗のため必要な進捗管理を行いたい。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
107,182	107,182	85,746	21,436	0	0	0



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○整備工事は一般競争入札を実施、委託業務は工事監理業務として建築設計者と随意契約をしており、支出先及び額は適正である。 ○費目・用途については事業目的達成の観点からすべて必要な委託業務及び請負工事である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

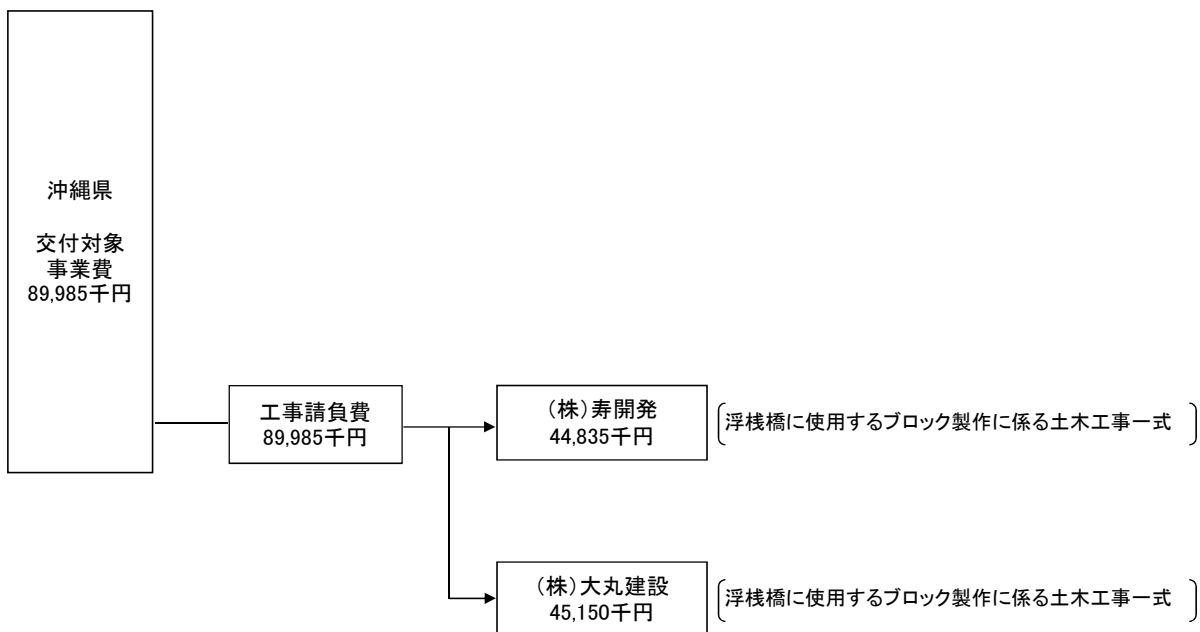
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	199	東海岸における海洋性レジャー拠点創出事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ		
	担当部課名	土木建築部 港湾課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	人流・物流を支える港湾の整備 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	沖縄本島東海岸(中城湾港西原与那原地区)に海洋性レジャー拠点を創出するため、マリーナ用地に、プレジャーボート等を保管するための浮 桟橋等を整備する。 平成25年度は、桟橋の整備を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他（工事請負費）						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	889,335	—	566,409		
		(b)予算現額	889,335	—	566,409		
		(c)増減額(b-a)	0	—	0		
		(d)繰越額	—	887,025	—		
	A. 計(b+d)		889,335	887,025	566,409		
		B. 執行済額	2,310	781,907	89,985		
		うち交付金充当額	1,848	625,527	71,988		
	C. 次年度繰越額	887,025	—	476,424			
	執行率(%) (B/A)	0.3%	88.1%	15.9%			
予算の状況の説明	・予算額は現場技術業務として委託料と浮桟橋の整備に要する工事請負費を計上したところである。 ・平成24年度予算で平成25年度に行った浮桟橋の設計に時間を要し、平成25年度は事業進捗に遅れが生じたことから執 行率は15.9%に留まっている。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	H25 桟橋工事に係る実施設計、設置工事 着手	目標		桟橋工事に係る設置工事着手			
		実績		桟橋工事に係る設置工事着手			
	H24 ポートヤード・修理ヤード舗装(m2)	目標	19,696m2				
		実績	21,210m2				
	H24 管理棟整備(棟)	目標	1棟				
		実績	1棟				
	H24 駐車場整備(m2)	目標	6,190m2				
		実績	9,354m2				
H24 取付道路整備(m)	目標	102m					
	実績	201m					
H24 広場整備(m2)	目標	1,950m2					
	実績	2,118m2					
H24 浮桟橋設計	目標	一式					
	実績	一式					
達成状況説明	・平成24年度予算については平成25年度に繰り越したものの年度内で完成予定の施設についてはほぼ予定通り完成することができた。 ・平成25年度は浮桟橋の整備に必要な一部ブロック製作工事のみ完了した。 ・平成26年度は引き続き浮桟橋の整備に必要な全てのブロック製作を終えた後、そのブロックを据え付ける浮桟橋本体の整備に着手し年 度内には完成する予定で、これにより全ての事業が完了することになる。 ・平成27年度にマリーナ施設の供用開始を見込んでおり、ダイビングやヨットなど海洋性レジャーの拠点創出に寄与することが期待でき る。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (〇〇年度)
	H25 海洋性レジャー拠点の通年対応に向 けた係留施設等の完成	目標			係留施設等に完成		
		実績			係留施設等に着手		
	H24 ポートヤード・修理ヤード舗装(m2)	目標		19,696m2			
		実績		21,210m2			
	H24 管理棟整備(棟)	目標		1棟			
		実績		1棟			
	H24 駐車場整備(m2)	目標		6,190m2			
		実績		9,354m2			
	H24 取付道路整備(m)	目標		102m			
実績			201m				
H24 広場整備(m2)	目標		1,950m2				
	実績		2,118m2				
H24 浮桟橋設計	目標		一式				
	実績		一式				
進捗状況説明	・平成24年度予算については平成25年度に繰り越したものの年度内で完成予定の施設についてはほぼ予定通り完成することができた。 ・平成25年度は浮桟橋の整備に必要な一部ブロック製作工事のみ完了した。 ・平成26年度は引き続き浮桟橋の整備に必要な全てのブロック製作を終えた後、そのブロックを据え付ける浮桟橋本体の整備に着手し年 度内には完成する予定で、これにより全ての事業が完了することになる。 ・平成27年度にマリーナ施設の供用開始を見込んでおり、施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P172西原与那原地区における浮 桟橋・ポートヤード等整備)においてダイビングやヨットなど海洋性レジャーの拠点創出に寄与することが期待できる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	マリーナ施設を整備する港内の静穏度が確保されていないことが判明し、波浪推算検討を行った。その結果、浮棧橋設計において港内の防波機能を向上させるための構造や規模などの追加検討に時間を要したことから事業に遅延が生じ繰り越すこととなった。	マリーナ施設の早期供用に向け、適切な工程管理に努め事業を推進する。
今後の取り組み方針		
マリーナ施設の供用開始後は、施設利用状況や将来的な需要予測を踏まえ、追加整備の必要性について検討を行う。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
89,985	89,985	71,988	17,997	0	0	0



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○土木工事一式は指名競争入札を実施しており、支出先及び額は適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

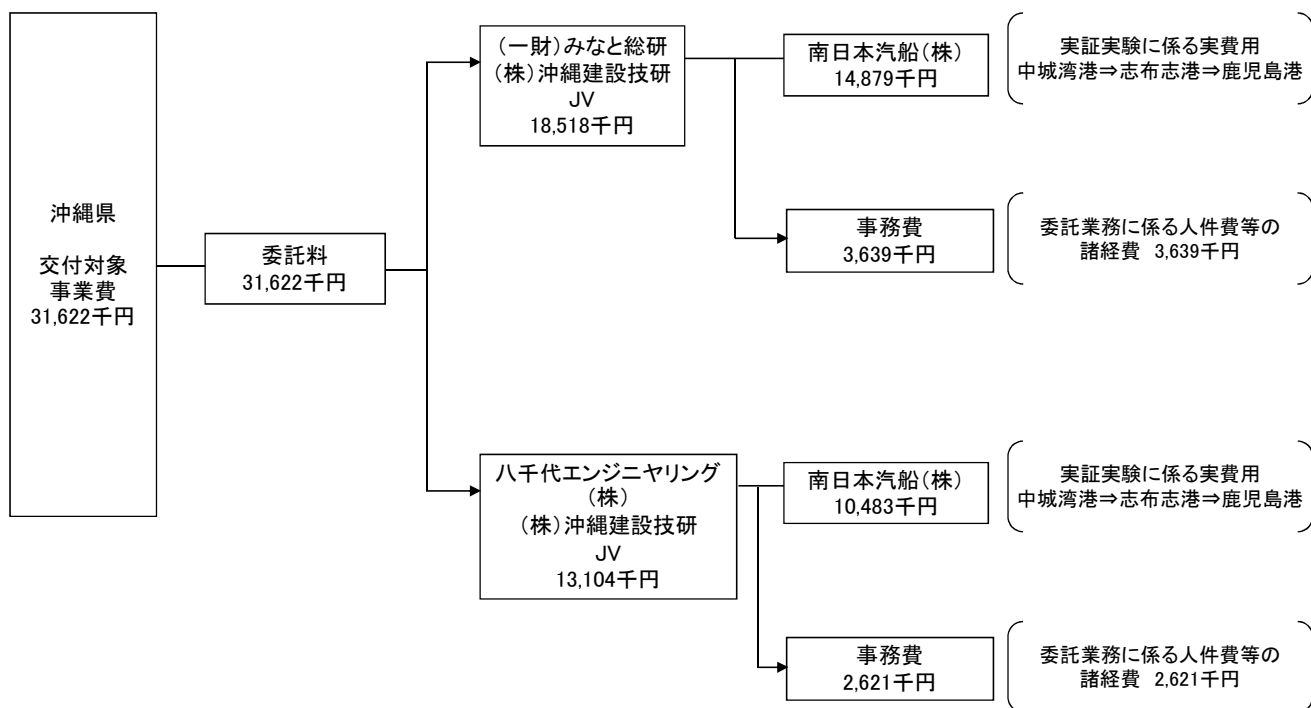
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	200	中城湾港新港地区物流拠点化促進調査	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(1)-イ		
担当部課名	土木建築部 港湾課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 29 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	人流・物流を支える港湾の整備 Ⅲ-1-(3)	
事業内容	流通加工港湾機能の強化を図るため、平成23年度から特別調整費を活用して実施している志布志港、鹿児島港と新港地区間及び平成24年度から実施している大阪航路の実証実験を踏まえ、先島航路への航路拡充を検討する。 平成25年度は、鹿児島航路及び大阪航路の実証実験を継続実施し、先島航路の検討を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位：千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	42,388	-	80,000		
		(b) 予算現額	90,000	-	80,000		
		(c) 増減額 (b-a)	47,612	-	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)		90,000	-	80,000		
	B. 執行済額		64,942	-	31,622		
	うち交付金充当額		51,953	-	25,297		
	C. 次年度繰越額		0	-	48,378		
執行率 (%) (B/A)		72.2%	-	39.5%			
予算の状況の説明		不用額が21,831千円発生しているが、貨物増によるものである。当該事業は、1航海当たり2,500千円を上限で支援する契約のため、貨物が無ければ2,500千円の支援、貨物実績が上がれば支援金が減額となる仕組みである。よって、当初計画していた貨物量を上回ったことから不用額が発生した。 新たに先島航路実証実験の検討業務を実施したが、船会社及び荷主との調整に時間を要すことから繰り越すこととなった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	<平成24年度>実証実験1航海当たりの平均取扱貨物量(t/1航海)	目標	500t/航海	3,000t/月			
	<平成25年度>実証実験1航海当たりの平均取扱貨物量(t/月)	実績	365t/航海	2,066t/月			
		目標					
	実績						
達成状況説明	鹿児島から中城湾港への移入貨物については増加しているものの、中城湾港から鹿児島への移出貨物が伸び悩んだため、目標値に達することができなかった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (26年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (26年度)
	<平成24年度>実証実験1航海当たりの平均取扱貨物量(t/1航海)	目標	3,000t/月	500t/航海	3,000t/月		3,000t/月
	<平成25年度>実証実験1航海当たりの平均取扱貨物量(t/月)	実績	-	365t/航海	2,066t/月		-
	(参考：沖縄21世紀ビジョン実施計画) 中城湾港(新港地区)の取扱貨物量	目標	-	-	-		110万トン (H28)
		実績	61万トン (23年)	61万トン (24年)	-		-
進捗状況説明	・鹿児島から中城湾港への移入貨物については増加しているものの、中城湾港から鹿児島への移出貨物が伸び悩んだため、目標値に達することができなかった。 ・実証実験の1航海あたりの取扱貨物量について、平成24年度と比較すると1.6倍と増加してきていることから、実証実験の有効性が確認できた。 ・取扱貨物量実績は順調に増加していることから、施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P154中城湾港(新港地区)の取扱貨物量)において、昨年度に比べ約7,500tの増加効果があった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 新規貨物開拓に向けて、荷主からの要望が強かった先島航路について、検討調査を行った結果、平成26年度から実施する計画となった。 平成23年度から毎週定期的に継続していることから、固定荷主の貨物が増加している。 今後、航路の拡充、便数の増便等の利便性を向上について懸念される。 地元自治体のうるま市、沖縄市は、物流ルート構築検討調査や陸送費補助等を実施し、協働体制で事業を推進している。 鹿児島航路の定期船就航が実現すれば、中城湾港の整備という施策への効果は大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年11月から実施している鹿児島航路の実証実験について、平成26年度末で打ち切り、平成27年度から定期航路化する。 荷主からの要望が強い先島航路について、早期に実施出来るよう船会社の条件等を整理し、早期着手を目指す。 関係機関との協働体制については、定期的に開催している協議会、連絡会を確実に実施し情報の共有化を図る。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島航路については、平成26年末までの事業期間とし、平成27年度からの定期航路化に向け荷主、船会社に対し周知・継続の働きかけを行う。 先島航路については、船会社の条件調整を行い、早期着手を目指す。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
31,622	31,622	25,297	6,325	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 委託事業者は、指名競争入札により仕様書の条件が整っている上で入札しており、妥当であったと考えている。 費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	201	中城湾港新港地区物流拠点化促進整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ		
担当部課名	土木建築部 港湾課	事業実施 (予定)年度	平成 25 ~ 26 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	人流・物流を支える港湾の整備		
事業内容	中城湾港新港地区に流通加工港湾機能の強化を図るため、上屋の増設を図る。 平成25年度は、上屋の実施設計を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	—	—	12,000		
		(b) 予算現額	—	—	12,000		
		(c) 増減額 (b-a)	—	—	0		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		—	—	12,000		
	B. 執行済額		—	—	3,020		
	うち交付金充当額		—	—	2,416		
	C. 次年度繰越額		—	—	8,980		
	執行率 (%) (B/A)		—	—	25.2%		
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・予算額は上屋の実施設計に係る委託料を計上したところである。 ・平成25年度は港湾利用者との調整及び津波避難施設機能の追加検討により不測の日数を要したため、執行率が25.2%に留まっている。 					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	上屋施設整備のための実施設計	目標	—	実施設計の実施			
		実績	—	実施設計の着手			
		目標					
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・上屋の実施設計業務は予定どおりに平成25年度に着手したが、港湾利用者との調整及び津波避難施設機能の追加検討により不測の日数を要したため、年度内に完了できず、繰越して業務を実施する。 						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (25年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (26年度)
	上屋整備の設計完了	目標	—	—	実施設計の実施		—
		実績	—	—	実施設計の着手		—
		目標					
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・上屋の実施設計は、繰越したことにより未達成の状況であるが、平成26年8月に完了できる見込みである。 ・平成25年度に上屋施設の実施設計(1棟)に着手しており、施策の推進(沖縄21世紀ビジョン実施計画P156上屋(2棟)の整備)において、平成26年度には、上屋(1棟)の整備工事を実施し、流通加工港湾機能の強化を図る。 					

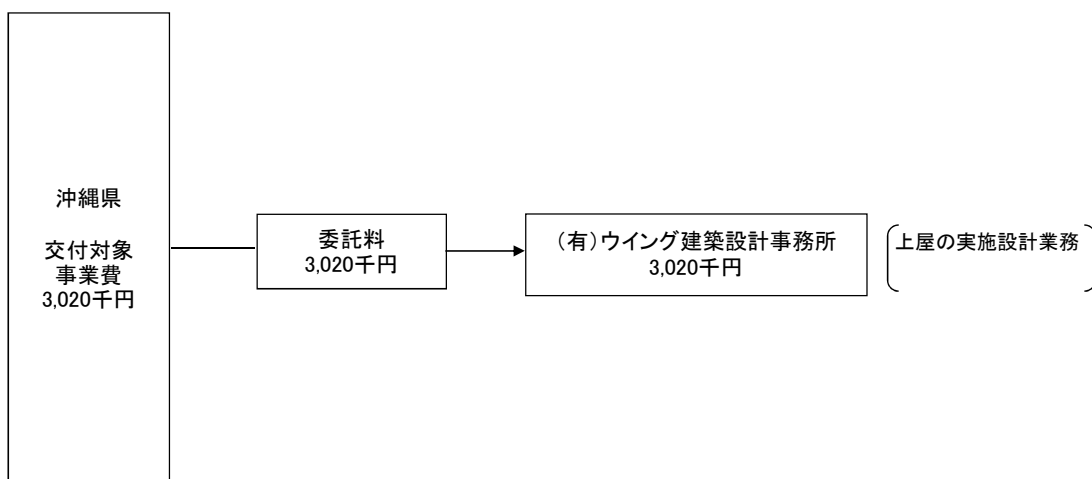
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・繰越の要因として港湾利用者との調整及び津波避難施設機能の追加検討に時間を要したため、年度内の達成が困難となった。 ・新たな課題として、上屋の新築工事施工箇所は供用中の施設内であることから、港湾利用者との調整が不可欠であるが、同箇所において、国の直轄工事が予定されており、施工時期など調整が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業務に遅れを生じていることから、上屋の新築工事の健全な工程管理が不可欠である。 ・工事実施にあたっては、直轄工事との工程調整を密し、供用中の施設利用者への影響を最小限にする必要である。

今後の取り組み方針

・上屋の新築工事の発注に先立ち、直轄工事との調整会議を開催し、供用中の施設利用者への影響に配慮した工程を検討し、施設の早期整備に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
3,020	3,020	2,416	604	0	0	0



資金の流 れ、費 目 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は指名競争入札を実施しており、支出先及び額は適正である。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要な委託業務である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

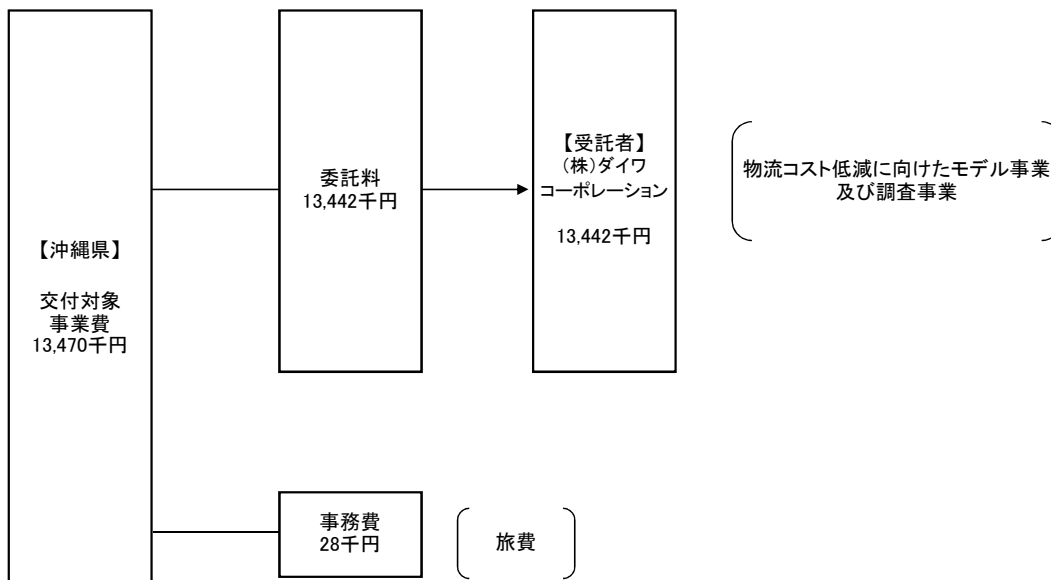
平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	124	製造業振興物流対策事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(1)-エ		
担当部課名	商工労働部 国際物流商業課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 25 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	国際ネットワークの構築、 輸送コストの低減及び物流対策強化		
事業内容	物流コストの最適化を図り、県産品の域外出荷を拡大するため、製品の共同輸送等による物流体系の効率化、再構築のためのモデル事業を企業からの提案も活用し、実証実験として実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・ 執行額 【単位：千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	128,000	—	80,600		
		(b) 予算現額	67,969	—	15,700		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 60,031	—	▲ 64,900		
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計 (b+d)		67,969	—	15,700		
	B. 執行済額		59,254	—	13,470		
	うち交付金充当額		0	—	10,776		
	C. 次年度繰越額		0	—	0		
	執行率 (%) (B/A)		87.2%	—	85.8%		
予算の状況の説明		事業規模の縮小(事業スキームの変更及び事業期間の短縮)に伴い、減額補正を実施。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	県産品出荷拡大に向けた新たな物流モデル構築等の実証実験の実施 (参加事業者数)	目標	5社	5社			
		実績	8社	0社			
		目標	—	—			
実績		—	—				
達成状況説明	平成24年度に実施した共同輸送モデルでは十分な効率化が得られなかったことを踏まえ、事業スキームの再検討を行った結果、平成25年度は共同輸送モデルの実験は行わず、共同物流センターを核とした共同化を図る新たな物流モデルを構築し、当該モデルに係る検証を実施。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (一年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (一年度)
	既存物流モデルと新たな物流モデルにおける詳細な物流コストの把握・検証	目標	—	—	物流コストの把握(比較)・検証		—
		実績	—	—	物流コストの把握(比較)・検証		—
		目標	—	—	—		—
		実績	—	—	—		—
進捗状況説明	・従来の物流コストを把握するとともに共同物流センター活用等共同物流におけるコスト試算を行い、コスト低減効果の検証を実施。 ・現状分析をベースに新たな物流モデル構築が進展しており、今後は構築した物流モデルの展開についても対応を検討。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・県外向け移出においては、集荷、荷役、海上/航空輸送、保管・管理、配送等多岐に渡る作業が発生するが、効率化に向けては各作業単位でなく、移出業務を包括的に捉えた対策が効果的である。 ・製造業だけが対象では貨物量が十分でなく、また、販売拡大等の展開にも繋げにくい。卸売業、小売業等の他業種を含めた対策とすることが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出荷から納品までの一連の移出業務を視野に入れた包括的な物流モデルの構築が必要である。 ・製造業に限らず、卸売業、小売業等の他業種を含めた総合的な物流対策が必要である。
	今後の取り組み方針	
<p>・H24～25年度の調査及び実証実験の結果を踏まえ、業種・業務を拡大した新たな物流対策を検討・実施する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付対象事業費の内訳				交付対象外経費
		うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	
13,470	13,470	10,776	2,694	0	0	0



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○企画提案により、物流に関する高い知見と多数の実績を持つ事業者を選定しており、妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、その必要性を額の確定時に関係書類により確認しており、妥当であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	